



クローバー動物病院

だより 第16号



今回は、歯周疾患(ししゅうしかん)①についてです。

歯周疾患(ししゅうしかん)①

歯科疾患は、イヌ・ネコに最もよくみられる問題のひとつです。3歳以上のイヌ・ネコでは80%以上の割合で歯周疾患(歯を支えている組織に起こるいろいろな病気)が発生し、いちばん多い病気と報告されています。イヌ・ネコはこれからますます高齢化が進み、歯周疾患をもつ患者はさらに増え続けると考えられています。

1 歯の構造



2 歯周疾患の発生状況

歯科疾患には様々な疾患が含まれますが、なかでも歯周疾患は発生率がいちばん高い疾患です。歯周疾患は最も多くみられるイヌやネコの生活習慣病といえます。慢性歯周疾患は心臓、肺、腎臓などに慢性的な病変を引き起こすといわれています。また逆に、全身性の病気などにより歯周疾患もさらに悪化していくことになります。

〈歯周疾患の発生状況〉

○年齢：イヌ 0～7歳…健康32% 口腔内疾患5.8%
7～10歳…健康15% 口腔内疾患13.7%
10歳以上…口腔内疾患13.6% 健康6.7%

ネコ 0～7歳…健康34.2% 口腔内疾患9.9%
7～10歳…健康20.1% 口腔内疾患18.9%
10歳以上…口腔内疾患19.5% 健康11.9%

○犬種：小型犬種は中・大型犬種に比べて発生率が高い。

3 歯垢（しこう）、歯石の形成と歯周病の発症

- ①だ液中の粘りある成分が、歯の表面に薄い膜を作ります。
- ②この薄い膜に口腔内細菌が付着し、繁殖して6～8時間で**プラーク（細菌と細菌副産物）**を形成します。
※この時点でプラークは軟らかく、ブラッシングなどで簡単に除去できます。
- ③プラークを放置しておくと、だ液中のミネラルが沈着し、3～5日で**歯石に変化**します。
- ④歯石がたまると、その表面にさらにプラークが形成されます。
- ⑤歯肉溝内にもプラークや歯石がたまると、付近に**細菌が増殖**します。
- ⑥この刺激により、**歯肉が炎症を起こし**、さらに進むと**歯周ポケットが形成**されます。
- ⑦炎症により歯を支えている組織が破壊され、歯周ポケットが深くなり、**重度になると歯が動き、最後には抜けて**しまいます。